

名前



問題を 読んで 正しい番号に○を つけましょう。

Q 136 ミョウバンの結晶作りの実験で、より大きな結晶を作るための工夫として適切なものはどれでしょう？

1. ゆっくり時間をかけて冷やす 2. 急速に冷やす 3. 激しくかき混ぜながら冷やす

Q 137 水溶液全体の重さに対する、溶けているものの重さの割合を百分率（％）で表したものを何といいますか？

1. 溶解度 2. 質量パーセント濃度 3. 飽和度

Q 138 ろ過をするとき、ろうとの足の先はビーカーの内壁につけるのはなぜでしょう？

1. かっこいいから 2. ろ液が飛び散るのを防ぎ、スムーズに流すため 3. ビーカーを温めるため

Q 139 一度溶かしたものを再び結晶として取り出す操作を、特に何といいますか？

1. 蒸留 2. 再結晶 3. 中和

Q 140 身の回りで「溶ける」という言葉が使われる例として、理科でいう「溶解」と意味が違うものはどれでしょう？

1. 角砂糖がコーヒーに溶ける 2. 雪が溶ける 3. 食塩が水に溶ける

Q 141 ふりが往復運動を続けられるのは、主に何の力が働いているからでしょう？

1. 磁力 2. 重力 3. 風の力

Q 142 同じ長さのふりこを使って、月面で実験すると、周期（1 往復する時間）は地球上と比べてどうなりますか？

1. 短くなる 2. 変わらない 3. 長くなる

Q 143 ふりこ実験で、おもりの「質量」を変える実験をするとき、何を使って重さを変えますか？

1. 糸の長さを変える 2. 同じ大きさで素材の違うおもりを 3. 振れ幅を変える
使う

Q 144 ふりこの運動エネルギーが最も大きくなるのは、どの位置を通過するときでしょう？

1. 一番高い位置 2. 一番低い位置（最下点） 3. 中間の位置

Q 145 メトロノームは、音楽のテンポ（速さ）を一定に保つための道具ですが、その仕組みに何が応用されていますか？

1. 電磁石 2. ふりこ 3. てこ

Q 146 ふりこの実験で、結果を記録するとき、どのような表を使うと分かりやすいでしょう？

1. 絵日記 2. 条件と結果を整理した表 3. 作文

Q 147 ふりこの周期は長さだけで決まるという性質を利用して、昔、地球の形が完全な球ではないことを発見したのは誰でしょう？

1. ガリレオ・ガリレイ 2. ニュートン 3. リシェ

Q 148 ふりこを使った実験で、周期を 10 回測って平均値を出すのはなぜでしょう？

1. 実験回数を増やすため 2. 測定誤差を小さくし、より信頼できる値を得るため 3. ストップウォッチの練習のため

Q 149 ふりこの長さが短いほど周期が短くなることを利用して、時間を計る道具として最初に考案されたものは何でしょう？

1. 日時計 2. 砂時計 3. ふりこ時計

Q 150 地震の揺れを記録する地震計の中にも、ふりこの原理が応用されているものがあります。これは何のためでしょう？

1. 時間を計るため 2. 地面の揺れに対しておもりが動きにくい性質を利用するため 3. 電気を起こすため